

「東久留米市第2次特別支援教育推進計画（素案）」に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間 令和3年12月1日（水）から令和3年12月20日（月）まで
- (2) 周知方法 広報ひがしくるめ、市ホームページ
- (3) 案の閲覧場所 指導室（市役所6階）、市政情報コーナー（同1階）、中央・滝山・ひばりが丘・東部の各図書館、市ホームページ
- (4) 意見提出者数 1名（内訳）電子メール 1名
- (5) 意見総数 1件

2 提出された意見の概要とそれに対する教育委員会の考え方

No	意見の概要	件数	教育委員会の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の計画にあった情緒固定学級を中学校に設置する為に検討するとあったがそれについての記述が無い。 ・特別支援教室が出来たからと言って小学校の情緒固定学級から中学に上がって通常級に馴染めず不登校になっている子のフォローができていない。 ・切れ目のない支援にわかき学園の発達支援センターと連携する旨の記述があったが職員面の力不足により学齢期の支援は到底無理だと思われる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の推進の方向性や教育環境の整備の在り方については、国及び東京都の動向や、これまでの特別支援教育の成果と課題及び保護者の要望等を十分に踏まえ、慎重に検討していく必要があると認識しております。 ・自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の状況を調査・研究し、小学校では平成30年度に2校体制とし、中学校では特別支援教室を利用して幅広い進路の充実につなげております。 ・児童発達支援センターわかき学園（療育部門）との連携については、わかき学園における日常生活に必要な基本動作や知識等の習得、集団生活や社会生活に適応するために必要

・アンケートによりと書かれているが記述式で無い為保護者のニーズを汲み取ったとは言い難い内容だった。

・早急に中学校の情緒固定学級を設置して欲しい。
5年間情報収集して結局設置しない理由が分からない。
その間子ども達の支援はどうなるのか？

な支援を小学校に引き継ぐこと、わかくさ学園が保護者に行っている家庭教育の指導・援助についても小学校と十分に情報共有を行うことを通して行ってまいります。

・あらかじめ用意された回答の中から、気持ちや考えに最も近い選択肢を回答することは、保護者の皆様に簡便にアンケートに取り組んでいただけるものと考えております。また、マークシート方式のアンケートでは、質問項目を適度に細分化し、詳細な分析を可能にすることができると捉えております。

・中学校における自閉症・情緒障害と考えられる生徒に対しては、通常の学級と特別支援教室において支援をし、希望する進路の実現に向けて適切な指導を行ってまいりました。今後は、本市の特別支援学級への入級状況などを注視しつつ、長期的な視点で整理する必要があると捉えております。